

令和3年度は企画総務委員会の委員長に就任



企画総務委員会

経営戦略部、企画政策部、総務部及び市民部の4部署を所管し今年度は、第8次総合計画を実施するため前期実践計画の施策・事業を着実に推進していきます。また、市民ニーズに応じた相談体制や事業・事務の効率化を進めます。



議会運営委員会

円滑かつ適正な議会運営を行うため、議会の運営全般や議長からの検討依頼事項について協議し、意見調整を図る場として設置される会議体です。



上郷スマートインター開通式



▲一級河川安永川改修事業の完成式典

産業建設委員長の一年を振り返って

住みよい郷土づくりのために

令和2年度は産業建設委員長として、太田市長、山田議長と一緒に国や県に豊田市全体の要望活動を行って参りました。更には、安永川完成式や松平トンネル開通式等にも参列するなど貴重な体験をさせて頂きましたので、この経験を今後の議員活動に活かして頑張る所存です。



▲中部地方整備局への拡幅工事等の要望活動



▲松平トンネル開通式



▲国土交通省への拡幅工事等の要望活動

市政のご意見・相談はこちらまで - みなさまのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください -

TEL (0565) 89-7515 FAX (0565) 85-8295
WEB <https://mizuno-hirofumi.jp/> E-mail letter@mizuno-hirofumi.jp
【水野ひろふみ後援会事務所】 〒471-0805 豊田市美里6丁目6-6 ミタチ家具内

何でも目安箱

家具センターミタチ
入口の目安箱に投函
ください。

水野ひろふみ

繋ごう! 地域力

WE LOVE とよた



安心・安全なまちづくりを目指して

令和3年度もスタートして3ヶ月が過ぎました。一度は落ち着きをみせていた新型コロナウイルスですが、変異株等による第3波襲来により、またもや日本中が暗いムードに包まれてしまいました。皆さまも、気の重い日々を過ごされてきた事と思います。その中で、希望の光であるワクチン接種が、豊田市でも5月末より始まりました。ワクチン接種には、まだまだ改善しなければならぬ点が多々あると思いますが、18か所の集団接種会場や、予約枠の追加など、とにかく今、打てる手をすべて打つ事で、収束に向かって行って欲しいと願うばかりです。収束

水野ひろふみ

豊田市議会議員

させるには、ワクチン接種だけではなく、今一度、私たち一人ひとりがどのように感染予防対策をするのか。その事を考え直すことが重要だと思えます。さて、今年度は昨年に引き続き、常任委員会の委員長に任命されました。企画総務委員会で議論を活発に行い、コロナ禍の暗いニュースを吹き飛ばす企画を執行部と協力して進めて参ります。未来の豊田市が、明るく、わくわくするまちに向かって進んでいくようにとチャレンジしていきたいと思えます。美里地区では、いよいよ中央公園第2期整備がスタートし、益富地区では、国道301号益富拡幅事業が事業化して進んで参ります。高橋南部地域(美里・益富)が、より安心安全な暮らしの場となるよう、「福祉のまち豊田市」を目指してまちづくりに邁進してまいります。

後援会地域対策部長挨拶



地域対策部長 高木幹夫

その実現をただ祈るばかりです。私事ではありますが、2回目の選挙時に松谷副会長には大変勉強させていただきました。今年こそ新型コロナウイルスが収束しましたら、各支部の支部長さんの協力を得て、水野市議との懇談会を行いたいと思えますので、皆様のご協力をお願いいたします。

後援会女性部長挨拶



女性部長 成田照子

日頃は水野ひろふみ後援会にご尽力いただき、誠にありがとうございます。誠後援会女性部長として2年余りとなりますが、地域女性部の皆様のご協力により、女性部の活動を行うことができました。ありがとうございました。今年と新型コロナウイルスの感染拡大により、活動もままならず、皆様にお会いできないことが少し寂しいと思えます。これからもコロナウイルスに負けず、水野ひろふみ後援会を盛り立て、女性部一丸となって応援してまいります。今後ともよろしくお願

広報紙でも
取組みを報
告してきま
した。

長年の大きな課題が地域の皆様の要望により、いよいよ着工に向けて動き始めます。 国道301号(益富拡幅)事業化決定!

私が市議会議員になって7年目になりますが、地域の皆様や益富区長会の歴代区長と毎年一緒に取組んでいた国道301号(益富拡幅)の事業化が決定しました。今後は早期4車線化を目指し安全な地域づくりのために要望活動に邁進いたします。

八木つや衆議院議員、鈴木雅博県議会議員のお力を借りて

第7号

平成29年7月発行

益富区長会要望活動



益富区長会代表者と市役所担当者と一緒に、愛知県豊田加茂建設事務所へ国道301号の益富区・早期4車線化の要望に伺いました。鈴木雅博県議会議員に同行して、建設事務所長に直接お会いし、要望活動を行いました。また、市役所では、磯谷副市長にお会いし、地域の声を直接伝えてきました。

第10号

平成31年1月発行

一般質問 12月 「国道301号未事業化区間」の課題認識

質問5 国道301号、野見山拡幅、松平バイパスの進捗状況は?

答弁5 野見山拡幅の用地取得率は100%で、南側2車線の道路築造工事が順次進められ、着実に4車線化の促進が図られている。ラグビーワールドカップ2019開催までに供用となる見通し。松平バイパスの用地取得率は95.5%で、トンネル工事に着手し、鍋谷町側からの掘削は完了、現在大内町側の坑口部掘削の作業をしている。

質問6 国道301号未事業化区間をどのように捉えているのか?

答弁6 外環状線から豊田松平インターチェンジまでの区間は、更なる物流ネットワークの強化、交通の円滑化、また災害時の緊急輸送道路として重要な区間と認識している。今後は、事業中である野見山拡幅及び松平バイパスの進捗状況等を踏まえ、愛知県に対して事業化に向けた働きかけを行っていく。

一般質問動画をご覧ください。
「水野ひろみ公式サイト」で検索



第13号

令和2年7月発行

国道301号益富工区の4車線化事業を藤川財務副大臣に自民クラブ議員団として要望活動



1月16日に藤川財務副大臣に自民クラブ議員団として要望活動に伺いました。豊田市の抱える、矢作川橋の首狭窄部の解消事業や産業の基盤を支える高規格幹線道路整備の要望を行い、八木衆議院議員からは副大臣に直接「国道301号益富工区の4車線化事業」のお願いをして頂きました。

第14号

令和3年1月発行

国土交通省・財務省への要望活動

産業建設委員長として豊田市の要望活動を八木衆議院議員、太田市長、山田議長と一緒に国土交通省・財務省へ益富拡幅等の要望に伺いました。



豊田市の幹線道路網要望に関する要望書

大村知事より発信 | 国道301号(益富拡幅)

- 事業主体 愛知県
- 総事業費 約30億円
- 事業着手 2021年度
- 事業内容 道路拡幅(4車線化)
- 計画延長 1.9km(豊田市松平志賀町~野見山町)
- 2021年度 用地測量、詳細設計



令和2年11月

301号期成同盟会にて事業区間の1番目の要望になりました。

定例会一般質問 [6月]

質問の趣旨 日本エネルギー自給率は低く、国内で一次エネルギーを確保できずにいる。エネルギーを有効に活用する考えが、今後の日本には必要になっていくと考える。日本のエネルギーの動向を確認し、災害時の分散型エネルギーの考え方や、本市の強み生かしたエネルギーの成長戦略の方向性を質問する。



▲カーボンニュートラルの世界イメージ図

質問1 「国のグリーン成長戦略を本市はどう捉えているのか」

答弁1 国は、地球温暖化対策の目標としているカーボンニュートラルの達成に向けて、再生可能エネルギーや水素の活用による電力の脱炭素化、運輸部門における電動化、バイオ燃料・水素燃料の利用、業務・家庭部門における水素化、蓄電池の活用などを掲げ、水素産業、自動車・蓄電池産業、運輸関連産業、住宅産業に加え、電力ネットワークの制御、自動運転技術、工場の自動化などに必要な半導体・情報通信産業を今後拡大していく産業と位置付けている。これらにより、本市の基幹産業である自動車関連の製造業では、自動車の水素利用や電動化に対応した製品への転換や、再生可能エネルギーの活用などによる生産工程の脱炭素化などが進むと捉えている。

質問4 「大胆且つ戦略的な方針で蓄電池の普及拡大に向けてどう考えるか」

答弁4 蓄電池の普及拡大に向けて、更に推進することが重要と考えている。家庭用蓄電池設置補助制度のほか、太陽光発電、HEMS、蓄電池の3機器を備えた住宅に対して固定資産税を減免する「スマートハウス減税」に加え、今後は、一括発注することで価格を抑える「共同購入事業」など、民間との連携を進め、蓄電池導入時における市民の費用負担の軽減に努めていく。

質問2 「後付け外部給電装置の機能と市民への啓発方法は」

答弁2 補助対象となる外部給電装置の機能は、自動車メーカーが搭載する車内コンセントと同等のAC100V、最大1,500Wで電力を供給できるものである。市民への啓発方法は、SAKURAプロジェクトの活動を通じて、自動車販売店でのPRのほか、自治区の防災訓練や各種イベント時に、装置のPRや活用方法を紹介していく。



電動車に搭載されている補機用バッテリー等に接続して、AC100V/1,500W以上の電力を正弦波で、安全かつ安定的に供給できる装置

質問3 「FIT期間満了に伴う今後の家庭用太陽光発電の活用方法は」

答弁3 FIT期間満了に伴う家庭用太陽光発電の活用方法は2つ。1つは、発電時は家庭の電力として使用し、余剰電力をFIT制度の売電価格より安い価格で電力会社へ売電する。もう1つは、蓄電池を併設して余剰電力を蓄電し、家庭の電力として使用する「自家消費」の方法。CO2削減に寄与するとともに、蓄電池を災害時の非常用電源として活用できる。

質問5 「官民で連携し未来への戦略を構築していく考え」

答弁5 今後、再生可能エネルギーを最大限活用するためには、省エネの推進に加え、再生可能エネルギーなどの創エネ、蓄電池、電動車などの蓄エネの普及を加速化し、それらのエネルギーをマネジメントする仕組みを実装化する必要があると考えている。

